

## 令和2年度社会福祉法人矢板市社会福祉協議会事業報告

### 1. 理事会・評議員会等の開催状況

#### (1) 理事会

開催日時・場 所	議 事
令和2年5月28日 (書面審議)	議案第1号 令和元年度事業報告について 議案第2号 令和元年度収支決算について 議案第3号 令和2年度補正予算第1号(案)について 議案第4号 評議員選任候補者の推薦及び解任について 議案第5号 評議員会の書面審議開催及び提出議案について
令和2年8月7日 (書面審議)	議案第1号 令和2年度事業計画の変更について 議案第2号 令和2年度補正予算第2号(案)について 議案第3号 定款施行細則別表の一部改正について 議案第4号 評議員選任候補者の推薦について 議案第5号 評議員会の書面審議開催及び提出議案について
令和2年12月25日 午前10時～ きずな館2階会議室	議案第1号 令和2年度事業計画の変更について 議案第2号 令和2年度補正予算第3号(案)について 議案第3号 評議員の解任について 議案第4号 評議員会の開催日時及び提出議案について
令和3年3月8日 (書面審議)	議案第1号 令和3年度事業計画(案)について 議案第2号 令和3年度収支予算(案)について 議案第3号 補償契約及び役員等賠償責任保険の契約について 議案第4号 評議員選任・解任委員の選任について 議案第5号 評議員選任候補者の推薦及び解任について 議案第6号 評議員会の開催日時及び提出議案について

#### (2) 評議員会

開催日時・場 所	議 事
令和2年6月18日 (書面審議)	議案第1号 令和元年度事業報告について 議案第2号 令和元年度収支決算について 議案第3号 令和2年度補正予算第1号(案)について
令和2年8月24日 (書面審議)	議案第1号 令和2年度事業計画の変更について 議案第2号 令和2年度補正予算第2号(案)について 議案第3号 定款施行細則別表の一部改正について 議案第4号 理事の選任について

令和3年1月6日 (書面審議)	議案第1号 令和2年度事業計画の変更について 議案第2号 令和2年度補正予算第3号(案)について
令和3年3月17日 (書面審議)	議案第1号 令和3年度事業計画(案)について 議案第2号 令和3年度収支予算(案)について

(3) 監査

開催日時・場所	監査内容
令和2年5月20日 午後1時30分～ きずな館2階会議室	令和元年度事業執行状況について 令和元年度収支決算について

(4) 評議員選任・解任委員会

開催日時・場所	監査内容
令和2年6月4日 (書面審議)	議案第1号 評議員の選任について 議案第2号 評議員の解任について
令和2年8月20日 (書面審議)	議案第1号 評議員の選任について
令和2年12月25日 (書面審議)	議案第1号 評議員の解任について
令和3年3月16日 (書面審議)	議案第1号 評議員の選任及び解任について

2. 低所得者福祉対策

(1) 小口資金「社会福祉金庫」の貸付 (単位:円)

件数	金額
0件	0

(2) 善意銀行援護資金の貸付 (単位:円)

件数	金額
32件	600,000

(3) 高額療養費の貸付 (単位：円)

件数	金額
10件	2,596,000

(4) 法外援護費の支給

件数	内訳
38件	上り32件 下り6件

(5) 生活困窮者自立支援事業 (決算額 13,959,873円)

生活困窮者の自立に向け、本人の状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を行った。

相談受付総件数 440件 プラン作成件数 111件

(うち就労プラン作成件数 29件 ⇒ 一般就労者数 9件 増収者数 3件)

※ 緊急小口資金特例貸付申請受付 151件 26,900,000円

総合支援資金特例貸付申請受付 95件 53,200,000円

(6) キッチンやいた事業

生活困窮者の支援のために、農家等米や野菜の生産者が寄付登録し生活困窮者の支援のために必要に応じて登録者から提供を受け食糧を配付した。

登録者数 16名

提供件数 102件 (米、野菜、もち、調味料等食料、衣料品等)

### 3. 心身障がい者福祉対策

(1) 声の広報

ボランティアグループ「さざ波」(11名)の協力を得て、広報やいた、社協だより、市議会だよりをCDに収録し、視覚障がい者や施設入所者等(8名)に配付した。

(2) 矢板市手話奉仕員養成研修事業 (決算額 0円)

手話の基礎知識を習得し、健聴者と聴覚障がい者の意思の疎通と相互の理解を深め、聴覚障がい者の福祉増進を図り、さらに高度な手話知識を習得するで、意思疎通者の養成に繋がることを目的に開催を予定したが、コロナ禍のため中止した。

(3) 矢板市障がい者福祉ボランティア育成講座 (決算額 0円)

障がい者福祉に関する知識や市の各種事業の現状について学ぶ機会を提供し、福祉やボランティア活動への理解を深めることで、各種障がい者福祉関連事業等で活動できる障がい者福祉ボランティアを育成することを目的に開催を予定したが、コロナ禍のため中止した。

#### 4. 高齢者福祉対策

##### (1) 生活支援体制整備事業 (決算額 11,861,680円)

###### ①生活支援体制づくり

市の委託を受け、地域における生活支援や介護予防サービスの充実、強化を図るため、第2層協議体の設置・運営と地域の情報の把握、担い手の養成、マッチングなどを行い、高齢になっても安心して暮らし続けられるよう、支え合い体制づくりを行った。(生活支援コーディネーター3名配置)

###### ②地区社会福祉連絡会の活動支援

設立されている4つの地区社会福祉連絡会の活動内容と課題などを調査した。また、連携を図るための情報交換会を開催した。

###### ③介護サポーター入門講座(介護に関する入門的研修)の開催

地域における多様な介護人材を確保するため、基本的な知識・技術を学ぶ講座を開催(8日間 24時間)し、8名が受講した。

###### ④サロンなどの居場所活動の支援

サロン活動を支援するために、出前講座(7回)を行った。また、新たな居場所開設を目指して、住民への説明や情報提供を実施した。

###### ⑤縁ジョイ講座の開催

縁ジョイ講座のボランティア連絡会(1回)を開催した。

###### ⑥見守り活動

ボランティアの作成したマスクや障がい支援事業所、学童保育館でリメイクしたうちわなどを地区社会福祉連絡会や行政区で独居高齢者などへ届ける活動を行った。(7行政区)

##### (2) やいた元気シニア地域活動応援ポイント事業 (決算額 3,179,331円)

①市の委託を受け、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいを応援するため、地域ボランティア活動、健康づくりに取り組んだ実績(1時間以上の活動につき1ポイント)に応じてポイントを付与するボランティアポイント事業を実施した。

・活動拠点 73ヶ所(介護保険施設、シニアクラブ、きらきらサロン等)

・活動登録者 1,182名

・交換ポイント合計 25,758ポイント(1ポイント100円)

②令和3年1月からの事業改正に伴い、地域ボランティア活動者向け講座を実施した。

6回 112名受講

③活動拠点介護保険施設へ改正点の説明会を開催した。

1回 6施設出席(他10施設は個別実施)

(3) 老人給食サービス (決算額 1,344,783円)

ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等を対象に、給食ボランティアの協力によりお弁当を届け、安否確認を行った。

- ① 受給対象者 48名
- ② 配食回数 週2回(火曜・木曜) 延べ95回 年間延食数2,109食
- ③ 調理ボランティア 79名
- ④ 配送ボランティア 51名
  - ・ボランティアグループ「みんな輪になろう会」の絵手紙配付
  - ・食材提供ボランティアから提供を受け、給食に活用

(4) ひとり暮らし高齢者愛の訪問事業 (決算額 308,840円)

市内に居住する80歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に、乳酸菌飲料を配布し、安否確認を行った。

実利用者 52名(令和3年3月31日現在) 延べ訪問回数 4,412回

(5) 泉げんきセンター「はつらつ館」の管理運営 (決算額 3,690,173円)

- ① 開館日 月曜日～土曜日(休館 日曜日、祝祭日、年末年始)
- ② 開館時間 午前9時～午後4時まで
- ③ 指導員 2名
- ④ 主な行事 百歳健康教室、健康相談、世代間交流事業(グラウンドゴルフ、輪投げ他)、ラージボール卓球、絵手紙、折り紙など
- ⑤ 来館者数 1,797名(内利用者1,563名、見学者等234名)

(6) リフト付きワゴン車貸出し事業 (決算額 285,680円)

身体が不自由な方や高齢者等の療育訓練、入退院、各種研修会への参加、レクリエーション等への参加など、社会参加の拡大を支援するため、車椅子やストレッチャーのまま乗車できるリフト付きワゴン車の貸出し事業を行った。

車種	件数	内訳
軽ワゴン	74件	病院利用 67 その他 7
バン	26件	病院利用 23 その他 3
計	100件	

(7) 高齢者福祉機器の貸出し 車椅子の無料貸出し 31件

(8) 介護用品支給事業 (決算額 1,402,366円)

在宅で要介護4、5の寝たきり高齢者、重度心身障がい児者等に、紙おむつ等支給券(2,000円/月)を給付し、在宅福祉の向上に努めた。 受給者 107名

## 5. 児童、母子父子福祉対策

### (1) 矢板市ファミリーサポートセンター事業 (決算額 2,452,445円)

ファミリーサポートセンターの運営について、市委託を受け地域での子育て支援を行った。

新規登録会員数 9名 現登録者数 310名

依頼件数 102件 内訳：一時預かり 1件 送迎 101件

### (2) 児童館の管理運営

#### ①「矢板児童館」「東児童館」運営事業 (決算額 14,502,812円)

指定管理者として管理運営し、児童の健全育成に努めた。「矢板児童館」については令和3年1月31日、「東児童館」については令和3年3月31日をもって閉館した。

・ 開館時間 午前9時～午後6時まで

・ 休館日 毎週月曜日・毎月第3日曜日・年末年始

※新型コロナウイルス感染症対策のため緊急事態宣言時休館、午前中のみ開館対応あり

・ 開館日数及び利用者数

矢板児童館 196日 10,623名 (内学童保育 10,197名)

東児童館 244日 9,974名 (内学童保育 9,358名)

・ 指導員 常勤 各館2名

・ 主な行事

矢板児童館 母親クラブ、子育てサロン、レッツクッキング、スポーツ吹き矢等

東児童館 ドリームの会、語り部、オセロ大会、クリスマス会等

#### ②子ども未来館運営事業 (決算額 3,415,500円)

次世代の矢板市を担う子どもたちが、健康で創造力のある心豊かな人間に成長できるよう各種行事や健全な遊びの場を提供することを目的に令和3年2月11日開館した。

・ 開館時間 午前9時～午後6時まで 毎週月曜日・毎月第3日曜日休館

・ 指導員 常勤3名 非常勤3名

・ 主な行事 親子制作 (手形で花を作る)、作って遊ぼう (ぶんぶんゴマ作り)

・ 年間利用者数 1,935名

### (3) 放課後児童対策「矢板市学童保育館」の管理運営 (決算額 30,185,952円)

保護者等が労働等により放課後家庭にいない児童を対象に、必要な生活習慣、遊び等を学習する場を提供し、健全育成に努めた。

① 開設場所	矢板小第一学童保育館	59名	} (令和2年5月1日現在) 保育児童数 計239名
	矢板小第二学童保育館	11名	
	東小学童保育館	59名	
	安沢小学童保育館	34名	
	川崎小学童保育館	33名	
	泉小学童保育館	43名	

- ② 保育時間 通常時 月曜日から金曜日 下校時から午後7時まで  
土曜日、長期休み（春、夏、秋、冬休み）  
上記は午前7時30分から午後7時まで
- ③ 研 修 コロナ禍のため中止
- ④ 交通安全教室の開催（夏休み） コロナ禍のため中止
- ⑤ 主任指導員定例会議の開催（年7回）

(4) 子育て地域コミュニティ等育成支援事業（決算額 2,500,000円）

地域コミュニティと連携し、子育てサービスの充実・強化を図ることを目的に、矢板市子育て総合支援拠点を設置し、子育て世代の交流の場の提供等の事業を行った。

ふれあい花壇交流会 3月25日 参加者28名

親子の交流や親同士の交流に加え、地域の高齢者とも交流を図りながら、絵本の読み聞かせ、花壇に花苗を植えた。

6. 日常生活自立支援事業（決算額 4,569,202円）

高齢者や障がいのある方の権利と財産を守り、地域で安心して自立した生活が送れるよう、暮らしや福祉などに関する相談、支援を行った。

相談件数 928件

契約件数 28件（実利用件数 63件） 解約件数 10件

7. 福祉教育の推進

(1) 福祉教育推進費の交付（決算額 490,460円）

児童、生徒の福祉に対する理解と関心を高めるために、市立小中学校11校及び市内高等学校1校を対象に福祉教育推進費を交付した。

- ・地域貢献（施設利用者への贈物の作成、花苗の配付、施設へのプランター設置など環境整備）
- ・福祉体験学習（高齢者疑似体験、車いす体験など）
- ・福祉に関する知識の習得（認知症サポーター講座、バリアフリー調査、障害者スポーツへの理解など）

(2) ボランティアサマースクールの開催

次世代を担う高校生を対象として、ボランティア活動への参加や認知症サポーター養成講座の受講等の内容を取り入れたサマースクールを開催する。⇒コロナ禍のため中止

### (3) 福祉のこころ推進校の認定

小中高等学校と連携した福祉教育の推進を目的に、地域福祉活動に取り組んでいる学校を福祉のこころ推進校に認定している。

認定校を対象に、福祉出前講座と福祉活動体験を実施した。

認定校 泉中学校、県立矢板高等学校

内 容 福祉ロゴマーク講座、車椅子体験、リフト付ワゴン車乗車体験

### (4) 福祉標語の募集

小中高校生を対象に、福祉啓発を目的とした福祉標語募集。入賞作品のうち、会長賞、各部門最優秀賞についてファイルに印刷、配付し啓発活動に努めた。(応募総数 867作品)

## 8. ボランティア活動の推進 (決算額 111,000円)

ボランティア活動を支援するため、ボランティア保険に加入した。

保険内容 賠償責任保険 1事故につき2億円

傷害保険 死亡 1,000万円 入院 1日4,750円

通院 1日2,500円

加入者数 256名

## 9. 不要入れ歯回収事業 (収入額 0円)

使用金属を換金することにより資源の再利用とその益金を有効活用することを目的とし、不要入れ歯を回収している。(換金された金額のそれぞれ40%がユニセフと社会福祉協議会に寄付され、残り20%が手数料としてNPO法人日本入れ歯リサイクル協会へ)。

設置場所 矢板市きずな館、矢板市役所(社会福祉課、くらし安全環境課) 矢板公民館、片岡公民館、泉公民館、泉はつらつ館 以上7箇所

## 10. 結婚支援(やいた未来クラブ)

結婚したいけれど出会いの機会がない、出会いがあれば結婚したいという方たちに出会いの場を提供するため、定例会(1回)の開催や結婚相談活動を行っているがコロナ禍のため活動を自粛した。

## 11. 法人後見事業の推進 (決算額 5,863,113円)

判断能力が不十分な認知症高齢者や知的・精神障がい者等が不利益を被らないように、当協議会が法人後見人となり支援活動を行った。

受任件数 5件

法人後見事業ケース検討会議 1回(6月10日)

法人後見事業運営委員会 3回(4月17日、8月24日、3月15日)

法人後見支援フォローアップ研修への参加 3名



12. きずな館の管理運営 (決算額 2,576,643円)

きずな館の管理、ボランティア団体等への会議室使用受付等の業務を行った。

13. 広報活動 (決算額 644,490円)

社協についての理解を深めるために「社協だより」を発行した。

年2回(12月、3月)発行 全戸配布

広報委員会の開催(年2回)

※コロナ禍のため7月休刊、事務局編集

14. 心配ごと相談所の開設 (決算額 122,936円)

・開設日時 毎週火曜日(第2火曜日を除く)午前9時~12時(延べ35回)

・相談員 17名(民生委員・児童委員) ※感染症対策のため事務局対応あり

・取扱件数 9件 内訳:家族2件 住宅4件 財産、医療等その他5件(重複あり)

15. 弁護士による無料法律相談 (決算額 660,000円)

・開催日時 毎月第3木曜日 午前9時~12時(延べ12回)

・取扱件数 57件

内訳:財産/相続24件 家族問題12件 対人関係8件 その他13件

16. 募金活動

(1) 共同募金

(単位:円)

区 別	募 金 額	備 考
戸 別 募 金	3,552,735	1世帯当たり450円
職 域 募 金	99,129	43件
法 人 募 金	182,142	52件
バ ッ チ 募 金	40,000	1個 500円以上
ク オ カ ー ド	0	1枚1,000円以上
そ の 他 の 募 金	32,766	募金箱等
計	3,906,772	

(2) 歳末たすけあい募金

収 入

(単位:円)

項 目	募 金 額	備 考
戸 別 募 金	1,868,530	1世帯当たり250円
特 殊 募 金	0	
預 金 利 息	0	預金利息
県共同募金配分金	2,393,935	令和元年度繰越金
計	4,262,465	

## 支 出

(単位：円)

項 目	該 当 人 員	金 額
1 歳末たすけあい見舞金	39世帯58名	624,400
2 福祉のつどい開催事業		4,268
3 ボランティア活動団体への助成	10団体	275,880
4 県共同募金会送金額	令和3年度に使用	3,357,917
計		4,262,465

※歳末たすけあい見舞金については、1世帯あたり15,000円を基本とし、1人増えるごとに2,000円増額

## 17. 自主財源の確保

○矢板市地域福祉振興基金（高原基金） 昭和61年度～

◇ 令和元年度末基金総額	318,977,693円
◇ 令和2年度実績額	6,075,685円
内 訳 1. 民間寄付金 13件	387,685円
2. 運用益	5,688,000円

寄付受入状況

(単位：円)

月	件数	金 額	月	件数	金 額
4月	1	10,900	10月	0	0
5月	0	0	11月	1	20,000
6月	1	14,074	12月	1	28,000
7月	2	51,090	1月	2	62,105
8月	0	0	2月	0	0
9月	2	11,116	3月	3	190,400
			計	13	387,685

○矢板市地域福祉振興基金（高原基金）購入債権一覧（運用状況）

SMB C日興証券

証券名	利付国債第121回 20年 1.9%	利付国債第131回 20年 1.7%	※既発債の場合、利息 支払い期日までの経過 利息は、債権を買った もの（買手）が売手に 支払い、買手は利息支 払い期日に半年分の利 息を受領する。
証券明細等			
買入日・単価	H22.11.19・100.000	H23.11.22・100.000	
買入額	277,000,000円	25,000,000円	
額面	277,000,000円	25,000,000円	
償還満期日	2030.9.20	2031.9.20	
年間利子	5,263,000円	425,000円	

債権額面総額：277,000千円(国債)+25,000千円(国債)=302,000千円

## 18. 各種講座等の開催

### (1) 第15回矢板市福祉のつどい

- ① 日 時 令和3年3月8日(月) 午前10時から
- ② 場 所 矢板市きずな館
- ③ 内 容 社会福祉法人社会福祉協議会表彰規程に基づく社会福祉功労者表彰のみを行った。
- ④ 表彰者 個人 14名 団体 3団体

### (2) 第43回福祉まつり (決算額 0円) ⇒コロナ禍のため中止

## 19. 善意銀行

市民からの善意の金品等を預かり、生活困窮者や預託者の希望先に払い出しを行った。

受払状況

	金 銭 預 託 (円)	物品預託 (件数)
前年度繰越	1,528,800	
本年度預託	寄附4件 221,155	65件
貸付償還金	734,000	
繰入収入	地域福祉振興基金から 0	
預金利子	17	
雑入	23,000	
計	1,906,972	
払い出し	援護資金貸付32件 600,000	65件
計	600,000	
差引残高	1,906,972	

### ※物品預託

食料品：米、乾麺 野菜、みそ等調味料、食用油、缶詰、みかん、豆もち、お茶ほか

衣料品：紳士婦人肌着、靴下、肌掛け等寝具ほか

その他：車椅子ほか